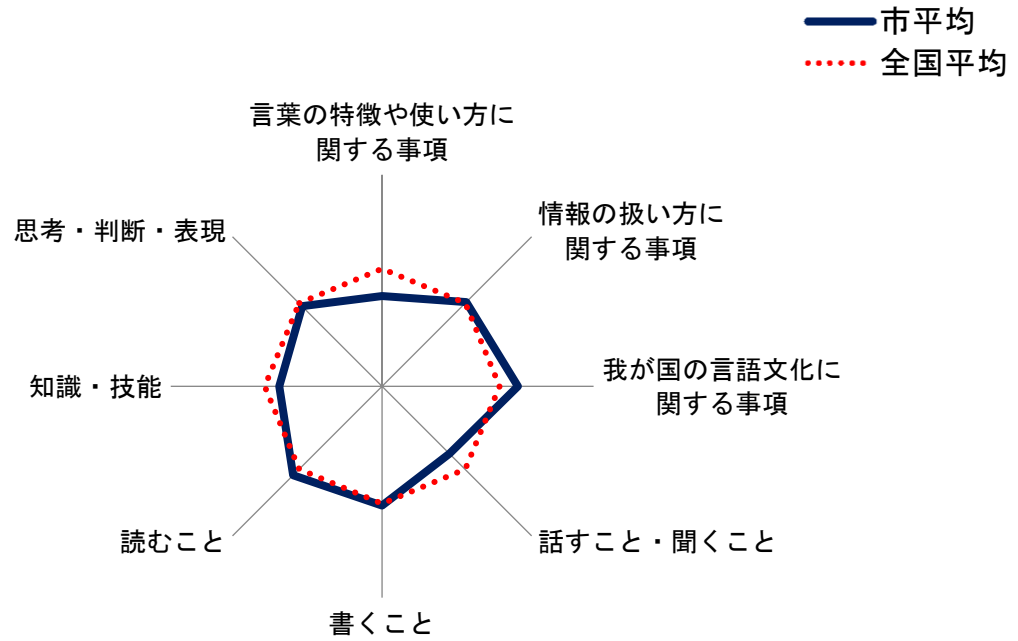
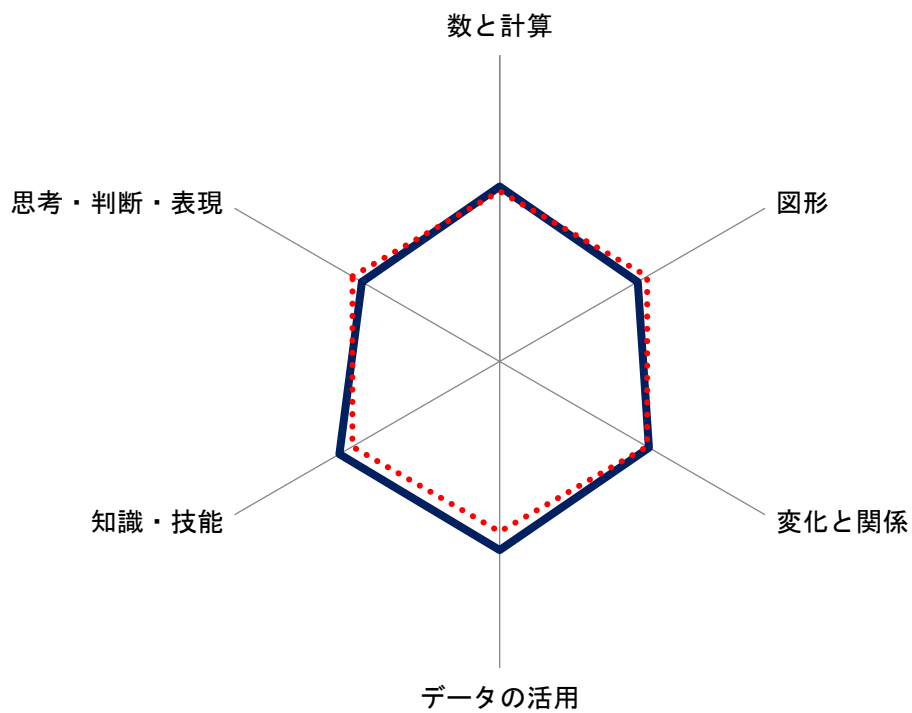


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

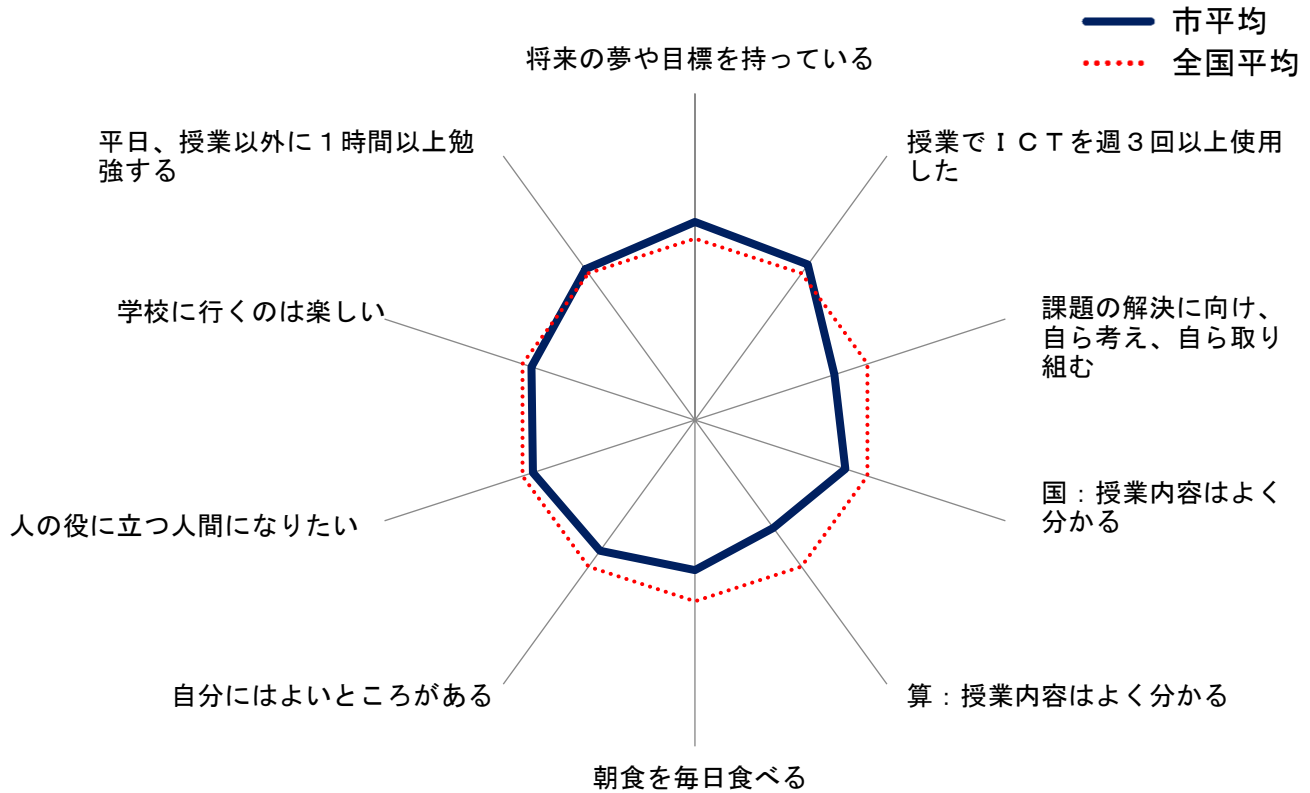
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」、算数の「データの活用」の項目は全国平均を上回っているものの、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」の項目は、全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後も、市が取り組んでいる「個別最適な学び、協働的な学び」の実現に向けた好事例の共有などを継続することで、資質・能力の育成に資する更なる授業改善を推進していくことが望まれる。

児童質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、キャリア教育の充実の成果がうかがえる。一方、国語や算数の「授業の内容はよく分かる」の項目は、昨年度に比べて全国平均との差が小さくなっており改善傾向が見られるものの、全国平均を大きく下回っており、依然として課題である。今後は、アナログとデジタルのベストミックスの観点から児童の学力向上につながるICTの効果的な活用の在り方を検証し、児童が主体的に学習に取り組み、「分かる、できる」を実感できる授業をより一層推進することが望まれる。